



コンデンサ型 (Electro-Static Type)

の歴史はSTAXで作られました。

世界で最初にピックアップを創りヘッドフォンを生み、現在では全音域スピーカーに至る迄、《音の入口から出口まで》すべて最高の忠実度をもつコンデンサ型機器を研究製作しています。

この忠実度は《振動系の軽量化》に要約することができます。

音が空気の振動であることは万人の知るところですが、その音を取扱うピックア

ップやスピーカのような音響機器には、音を収集したり発生したりする《振動系》があります。ピックアップで云えば針先を含む振動子、スピーカでは紙や金属で作られた振動板がこれです。

ものが振動する——振動体が重くなるほど、慣性が大きくなり、ピタリと止るべきところでも余分な《尾を引く》ようになります。これが過渡現象で、音の汚れ・濁り、胸間声や金切声、そして音量が大きくなると騒々しくなり、逆に小さく